

(1) b 小男子サンプル:b-12・・・継続的危険認知タイプ

b 小男子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-12 を参照。

危ない道の主な撮影対象は、交差点や路肩、特定の建物など多様であった。コメントでは「こわれそう」(図 5-29)や「ゆうしてっせん」(図 5-30)といったその他の危険のコメントが多かった。

写真の撮影タイプでは、継続的危険認知型やその他の危険認知型が多く、写真枚数が多いため、継続的危険認知タイプと言える。

表 5-12 b 小男子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | b-12 |
| 危ない道枚数 | 14 |
| 通学距離(m) | 174 |
| 通学人数 | 三人以上 |
| 通学手段 | 徒歩 |



図 5-19 b-12-1:突発的危険認知型



図 5-20 b-12-2:継続的危険認知型



図 5-21 b-12-3:その他の危険認知型



図 5-22 b-12-4:突発的危険認知型



図 5-23 b-12-5:継続的危険認知型



図 5-24 b-12-6:継続的危険認知型



図 5-25 b-12-7: 継続的危険認知型



図 5-26 b-12-8: その他の危険認知型



図 5-27 b-12-9: その他の危険認知型



図 5-28 b-12-10: その他の危険認知型



図 5-29 b-12-11: 継続的危険認知型



図 5-30 b-12-12: 継続的危険認知型



図 5-31 b-12-13: その他の危険認知型



図 5-32 b-12-14: 継続的危険認知型

(2) B 中三年生女子サンプル:B-5・・・継続的危険認知タイプ

B 中三年生女子のサンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-13 を参照。

危ない道の主な撮影対象は直線道路が多い。コメントでは、「車が飛ばしてくる」(図 5-37)といった車のルール・マナーに関するコメントや「歩くところめっちゃ狭い」(図 5-38)道幅の狭さに関するコメントがあった。

写真の撮影タイプでは、継続的危険認知型が多く、典型的な継続的危険認知タイプと言える。

表 5-13 B 中三年生女子サンプル

| | |
|---------|-----|
| サンプル記号 | B-5 |
| 危ない道枚数 | 6 |
| 通学距離(m) | 495 |
| 通学人数 | 二人 |
| 通学手段 | 徒歩 |



図 5-33 B-5-1:突発的危険認知型



図 5-34 B-5-2:車の危険遠方認知型



図 5-35 B-5-3:継続的危険認知型



図 5-36 B-5-4:継続的危険認知型



図 5-37 B-5-5:継続的危険認知型



図 5-38 B-5-6:継続的危険認知型

(3) a 小男子サンプル:a-11・・・突発的危険認知タイプ

a 小男子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-14 を参照。

危ない道の主な撮影対象は交差点が最も多い。コメントでは、「急に車が…」(図 5-41)や「急に車がまがってくる」(図 5-43)など車の飛び出しなど見通しの悪さに関するコメントや急な右左折などルール・マナーに関する指摘が多かった。

写真の撮影タイプでは、突発的危険認知型の枚数が多く、突発的危険認知タイプと言える。

表 5-14 a 小男子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | a-11 |
| 危ない道枚数 | 13 |
| 通学距離(m) | 631 |
| 通学人数 | 三人以上 |
| 通学手段 | 徒歩 |



図 5-39 a-11-1:車の危険遠方認知型



図 5-40 a-11-2:その他の危険認知型



図 5-41 a-11-3:突発的危険認知型



図 5-42 a-11-4:継続的危険認知型



図 5-43 a-11-5:突発的危険認知型



図 5-44 a-11-6:車の危険遠方認知型



図 5-45 a-11-7: 継続的危険認知型



図 5-46 a-11-8: 突発的危険認知型



図 5-47 a-11-9: 継続的危険認知型



図 5-48 a-11-10: 継続的危険認知型



図 5-49 a-11-11: 突発的危険認知型



図 5-50 a-11-12: その他の危険認知型



図 5-51 a-11-13: 車の危険遠方認知型

(4) B 中女子サンプル:B-12・・・突発的危険認知タイプ

B 中女子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-15 を参照。

危ない道の主な撮影対象は交差点が多く、高架の写真もあった。コメントでは「自転車に乗っている時、他人とぶつかりそうになった事があった」(図 5-55)といった具体的なコメントがあり、見通しの悪さに関するコメントが多かった。

写真の撮影タイプは突発的危険認知型が多く、突発的危険認知タイプと言える。

表 5-15 B 中女子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | B-12 |
| 危ない道枚数 | 4 |
| 通学距離(m) | 735 |
| 通学人数 | 二人 |
| 通学手段 | 自転車 |



図 5-52 B-12-1: その他の危険認知型



図 5-53 B-12-2: 突発的危険認知型



図 5-54 B-12-3: 車の危険遠方認知型



図 5-55 B-12-4: 突発的危険認知型

(5) a 小男子サンプル:a-27・・・写真少数タイプ

a 小男子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-16 を参照。

危ない道の主な撮影対象は、路肩が多かった。コメントでは、「ここにつまづく」(図 5-57)など路面・路肩の状況に関するコメントが多かった。

写真の撮影タイプはその他の危険認知型が多く、写真枚数が少ないため、典型的な写真少数タイプと言える。

表 5-16 a 小男子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | a-27 |
| 危ない道枚数 | 4 |
| 通学距離(m) | 379 |
| 通学人数 | 二人 |
| 通学手段 | 徒歩 |



図 5-56 a-27-1: その他の危険認知型



図 5-57 a-27-2: その他の危険認知型



図 5-58 a-27-3: 突発的危険認知型



図 5-59 a-27-4: その他の危険認知型

(6) A 中男子サンプル:A-14・・・写真少数タイプ

A 中男子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-17 を参照。

危ない道の主な撮影対象は直線道路であった。コメントでは「何がでてくるかわからない」(図 5-60)や「ちょっと幅がせまい」(図 5-61)など見通しの悪さに関するコメント、設備の整備に関するコメントなどがあった。

写真の撮影タイプでは、写真枚数が少ないため写真少数タイプと言える。

表 5-17 A 中男子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | A-14 |
| 危ない道枚数 | 2 |
| 通学距離(m) | 120 |
| 通学人数 | 一人 |
| 通学手段 | 徒歩 |



図 5-60 A-14-1:車の危険遠方認知型



図 5-61 A-14-2:継続的危険認知型

5-4-3 好きな道撮影サンプルの類型化

好きな道撮影サンプルを対象として、写真集約好きな道撮影サンプルの四つの撮影タイプにおける写真枚数をカテゴリーに用いてクラスター分析を行った。距離は平方ユークリッド距離、クラスター化の方法は Ward 法を用いた。その結果、好きな道撮影サンプルは三つに分けられた。このうち性質上他のグループに組み込むことができる小グループを、他の大グループにまとめて、二つのグループを得た。

グループ①は遊び場所型と特定自然物嗜好型の枚数がやや多かったが、平均写真枚数が少なかったため、写真少数タイプと名付けた。

グループ②は遊び場所型の枚数が多かったため、遊び場所タイプと名付けた。

各グループの名称、サンプル数は表 5-18 の通り。

このように、好きな道撮影サンプルは、写真少数タイプと遊び場所タイプの二つのタイプに分けられた。

表 5-18 好きな道撮影サンプルの各グループの名称

| グループ番号 | 名称 | 平均写真枚数 | サンプル数 | 割合 |
|--------|---------|--------|-------|--------|
| ① | 写真少数タイプ | 2.24 | 46 | 69.7% |
| ② | 遊び場所タイプ | 7.00 | 20 | 30.3% |
| | 計 | 3.68 | 66 | 100.0% |

5-4-4 特徴的な好きな道撮影サンプルの考察

「5-4-3 好きな道撮影サンプルの類型化」で得られた二つのグループの中から特徴的なサンプルを小学生と中学生の一人ずつ取り上げ個別に考察する。

なお、各サンプルの好きな道の写真のみを取り上げる。

各コメントの数字はコメントタイプと対応している。

- ①・・・動物に関するコメント
- ②・・・植物に関するコメント
- ③・・・景色・景観に関するコメント
- ④・・・特定の建物に関するコメント
- ⑤・・・遊び体験を伴うコメント
- ⑥・・・安全に関するコメント
- ⑦・・・通学における快適さに関するコメント
- ⑧・・・その他のコメント

(1) b 小女子サンプル:b-26・・・写真少数タイプ

b 小女子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-19 を参照。

好きな道の主な撮影対象は直線道路や公園などであった。コメントでは、「ネコがあつまってくる」(図 5-63)や「お花がきれい」(図 5-64)など動植物に関するコメントが多かった。

写真の撮影タイプでは、特定自然物嗜好型が多く、写真枚数が少ないため写真少数タイプと言える。

表 5-19 b 小女子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | b-26 |
| 好きな道枚数 | 4 |
| 通学距離(m) | 316 |
| 通学人数 | 二人 |
| 通学手段 | 徒歩 |



図 5-62 b-26-1: 特定人工物嗜好型



図 5-63 b-26-2: 遊び場所型



図 5-64 b-26-3: 特定自然物嗜好型



図 5-65 b-26-4: 特定自然物嗜好型

(2) A 中女子サンプル:A-21・・・写真少数タイプ

A 中女子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-20 を参照。

表 5-20 A 中女子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | A-21 |
| 好きな道枚数 | 4 |
| 通学距離(m) | 493 |
| 通学人数 | 記述なし |
| 通学手段 | 徒歩 |

好きな道の主な撮影対象は歩道や直線道路があり、空を撮影した写真もあった。コメントでは、「陰があって涼しい」(図 5-67)など通学中の快適さに関するコメントがあった。

写真の撮影タイプでは遊び場所型が多いが、写真枚数が少ないため写真少数タイプであると言える。



図 5-66 A-21-1: 遊び場所型



図 5-67 A-21-2: 遊び場所型



図 5-68 A-21-3: 遊び場所型



図 5-69 A-21-4: 景色嗜好型

(3) a 小女子サンプル:a-12・・・遊び場所タイプ

a 小女子のサンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-21 を参照。

表 5-21 a 小女子サンプル

| | |
|---------|------|
| サンプル記号 | a-12 |
| 好きな道枚数 | 7 |
| 通学距離(m) | 563 |
| 通学人数 | 三人以上 |
| 通学手段 | 徒歩 |

好きな道の主な撮影対象は、公園、田んぼ、森など多様である。コメントでは、「広い運動場があり、その運動場で遊べるからです」(図 5-72)や「川です、ザリガニ、メダカなどがよくとれるからです」

(図 5-74)といった具体的な遊び体験を伴ったコメントが多い。また、景色や景観に関するコメントもあった。

写真の撮影タイプでは、遊び場所型が多く、遊び場所タイプであると言える。



図 5-70 a-12-1: 景色嗜好型



図 5-71 a-12-2: 遊び場所型



図 5-72 a-12-3: 遊び場所型



図 5-73 a-12-4: 遊び場所型



図 5-74 a-12-5: 特定自然物嗜好型



図 5-75 a-12-6: 景色嗜好型



図 5-76 a-12-7: 遊び場所型

(4) A 中男子サンプル:A-6・・・遊び場所タイプ

A 中男子サンプルが撮影した写真を以下に示す。個人データは表 5-22 を参照。

好きな道の主な撮影対象は建物が最も多かった。コメントでは「ユースストアが近く」(図 5-79)や「高校がいい」(図 5-82)など特定の建物に関するコメントが多かった。

写真の撮影タイプでは、遊び場所型が多く、遊び場所タイプであると言える。

表 5-22 A 中男子サンプル

| | |
|---------|-----|
| サンプル記号 | A-6 |
| 好きな道枚数 | 7 |
| 通学距離(m) | 734 |
| 通学人数 | 一人 |
| 通学手段 | 自転車 |



図 5-77 A-6-1: 景色嗜好型



図 5-78 A-6-2: 遊び場所型



図 5-79 A-6-3: 特定人工物嗜好型



図 5-80 A-6-4: 遊び場所型



図 5-81 A-6-5: 遊び場所型



図 5-82 A-6-6: 遊び場所型



図 5-83 A-6-7: 遊び場所型

5-4-5 サンプルの類型化のまとめ

危ない道撮影サンプルの類型化に関して、以下にまとめる。

- 危ない道撮影サンプルは継続的危険認知タイプ、突発的危険認知タイプ、写真少数タイプの三つに分けられる。
- 継続的危険認知タイプは直線道路の車の交通量や路面の段差などの継続的危険を認知していることが多い。
- 突発的危険認知タイプは交差点での車の飛び出しなどを認知していることが多い。
- 写真少数タイプは写真枚数が少ないサンプルである。

好きな道撮影サンプルの類型化に関して、以下にまとめる。

- 好きな道撮影サンプルは写真少数タイプと遊び場所タイプの二つのタイプに分けられる。
- 写真少数タイプは写真枚数が少ないサンプルである。
- 遊び場所タイプは遊び場所の写真や撮影者と関わりが強い空間の写真が多い。

5-5 まとめ

本章では調査結果を用いて数量化や類型化を行い分析した。本章で得られた危険性認識についての結果を以下にまとめる。

- 道で危険を感じる時、直線道路では交通量や設備に整備状況、交差点では見通しの悪さや交通量、歩道では設備の整備状況、それ以外の特定対象に危険を感じる場所では路面・路肩の状況やその他の状況が主な原因となる。
- 危険を感じる時の因子として、車の危険であるか、突発的な危険であるか、近接する危険であるかが重要である。
- 特定対象に対して危険を感じる場所では、車の危険よりその他の危険を認識している。また、そこでの危険は継続的危険であり、遠方から確認できる危険である。
- 歩道での危険は近接する危険である。

- 交差点では車の危険に限らずその他の危険も少なからず認識しており、どちらの危険でも突発的危険である。
- 直線道路では車の危険を認識している。そこでの危険は継続的危険である。
- 中学生はその他の危険より車の危険を強く認識している。
- 市街地の小学校では遠方の危険より近接する危険を強く認識している。
- 性別、通学距離、通学人数、通学手段による影響は特に認められない。
- 写真集約危ない道撮影サンプルは、継続的危険認知型、その他の危険認知型、車の危険遠方認知型、突発的危険認知型の四つのタイプに分けられる。
- 危ない道撮影サンプルは、継続的危険認知タイプ、突発的危険認知タイプ、写真少数タイプの三つのタイプに分けられる。

本章で得られた好きな場所の認識についての結果を以下にまとめる。

- 道で魅力を感じる時、特定対象に魅力を感じる場所では動物や植物、景色に魅力を感じる場所では景色・景観それ自体、建造物に魅力を感じる場所では快適さ、安全性、建物それ自体、景観に魅力を感じる場所では遊び体験があること、景色・景観それ自体が主な原因となる。
- 道に魅力を感じる時の因子として、集中して対象を捉えているか、自然物を対象として捉えているか、遊び体験を伴う場所を対象として捉えているかが重要である。
- 景観に魅力を感じる場所では、空間を広く認識していると言える。また、対象に遊び体験を通して魅力を感じている。
- 建造物に魅力を感じる場所では、その人工物を中心とした空間を狭く認識していると言える。また、対象を観察することによって魅力を感じている。
- 景色に魅力を感じる場所では、自然的な空間を広く認識していると言える。また、対象を観察することによって魅力を感じている。
- 特定対象に魅力を感じる場所では、その自然物を中心とした空間を狭く認識していると言える。また、対象に遊び体験を通して魅力を感じている。
- 郊外の学校では子どもは自然的な空間を広く認識しており、市街地の学校では空間を構成する特定の要素を強く認識している。
- 通学距離が長い子どもは空間を広く認識している。
- 自転車で通学する中学生は空間を広く認識している。
- 性別、通学人数による影響は特に認められない。
- 写真集約好きな道撮影サンプルは、遊び場所型、景色嗜好型、特定自然物嗜好型、特定人工物嗜好型の四つのタイプに分けられる。
- 好きな道撮影サンプルは、写真少数タイプと遊び場所タイプの二つのタイプに分けられる。